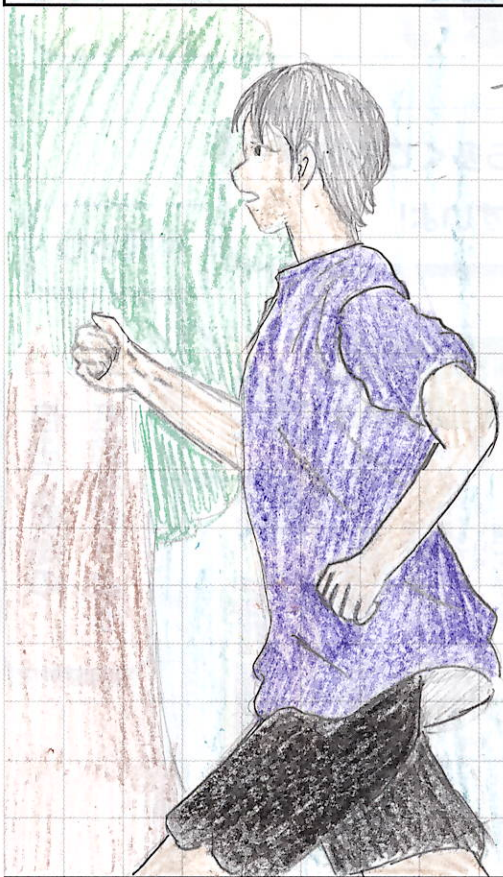


未来新聞

発行者

豊橋市立中野小学校 6年
ふりがな おおかわら さやか
大河原 紗香

一步一步がちからになる



私のお父さんは、15年前からゴツゴツとマラソンの練習をしていました。大会もたくさんでていて、私はとてもすごいなと思っていました。私はお父さんのように努力ができるタイプではありませんが、努力をしなくてもある程度のことはできてしまうので、努力がしなくてもできるからいいやと思ってしまうことがよくあります。でも、そんな私だからこそ、毎日欠かさず努力を続けられる人を心から尊敬しています。

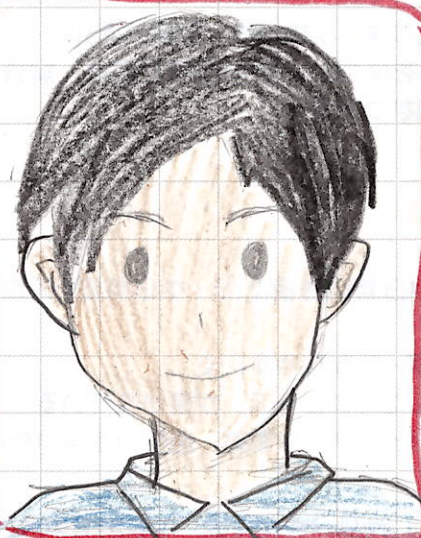
継続が夢への

近道

そこで私は、1週間だけでもバレーの練習を続けてみようと思いました。1日目、レシーブとオーバーが、ぜんぜんできていない。2日目、レシーブのゴツが少しわかったが、オーバーは1日目と変わらず、下手だった。3日目、レシーブがとても安定して、オーバーはひじを曲げるタイミングを覚えた。4日目、速いボールをレシーブで返すことができた。オーバーはだんだん安定してきた。5日目、片手でレシーブをした。6日目、オーバースリーブを掴んだ。7日目、オーバースリーブはうまくいく。8日目、オーバースリーブは一回転になった。9日目、オーバースリーブは無回転になった。

編集後記

1週間継続するのは大変だったけど、毎日やるうちにたくさんさんのことができるようになった。楽しかったし、達成感がありました。これからも無理せず、お父さんのように継続を続け、努力のできるようになりたいです。



お父さんにインタビュー

大会に出ると知らない土地を走らせて楽しいし、治道で応援してもらえると元気が出ます。新しいシューズを買ったと走りたくなるし、タイムや距離を記録すると次の目標にもなります。無理をせず楽しみなから続けることが大事です。